

親子で天体観測

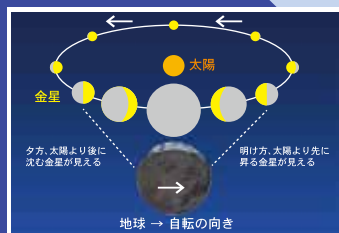


夜空を見上げてみよう

時期：7月

今が一番星 「宵の明星」を眺めよう

太陽が沈んで最初に見える星を一番星と言いますが、ここ最近の西の空に現れる一番星が明る過ぎて、あれは何だ!?なんて声も聞こえてきそうです。地球から見て太陽、月を除けば明るさNo.1の星ですから、無理ありません。



この星の正体は、太陽系の惑星の一つ「金星」。宵の明星、明けの明星とも言われ、夕方が明け方にしか見えない、つまり真夜中には見えない星です。それは、金星が太陽から見て地球の内側を回っている惑星だからです。地球と同時期に誕生し、大きさも同じぐらい。一つ手前を回っていて、公転は約225日(地球は365日)と、割と親近感の持てる星です。

しかしその中身は地球とは大きく異なり、謎の多いミステリアスな惑星のようです。特に、自転が約243日(地球は24時間)と公転より長く、しかも他の太陽系の惑星とは逆に回っているのは不可思議です。金星で見る太陽の動きは地球と逆ですから、まさに「西から昇ったお日様が、東へしず〜むう♪」…。口ずさみながら金星を眺めてリラックスしましょう。「これでいいのさあ♪」

★日立シビックセンター 科学館
井上 清正

天文現象

- 7月 8日(月) 新月
- 7月 16日(火) 上弦の月
- 7月 19日(金) 夏の土用の入り
- 7月 23日(火) 満月
- 7月 30日(火) 下弦の月

ワンポイントアドバイス

太陽が沈んでから午後8時半頃まで西の空に見ることが出来ます。

日立シビックセンター天球劇場の上映案内

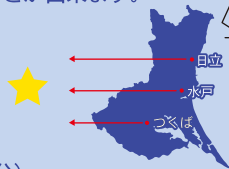
★ドーム映像番組「We are ALIENS!ーボクらは宇宙人!」

※その日の夜の星座解説と合わせて、上映時間は約45分です

★「星と宇宙を楽しむプラネタリウム」

※満天の星と壮大な宇宙を生解説でお送りします(上映時間約45分)

[問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。

16日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。